

金閣の金の屹立秋高し

北海道

札幌市

小山 耕昭

春泥を鶴のごとくにハイヒール

北海道

札幌市

壁 和彦

彩なせる運河の面や蔦紅葉

北海道

札幌市

堺 久子

人通る時良く落ちる枯葉かな

北海道

札幌市

野水八重子

四万六千日ゆくりなき旅路

北海道

札幌市

藤盛登志子

山すその辛夷明りや大師堂

北海道

札幌市

宮本二三夫

蝌蚪生まる水を蹴つたる尾のちから

北海道

札幌市

安原ときこ

音頭とる祭男の威勢かな

北海道

室蘭市

青野 時子

生かさされてなほ生かさされて墓洗ふ

北海道

帯広市

須田としお

老いの背に大きなリュック風光る

北海道

幕別町

横山 利光

ラムネ玉少年の日の立ちあがる

青森県

弘前市

石沢とき穂

耕して塩害の土いとほしく

岩手県

奥州市

伊藤 瑛

思い出はなべて七彩しやぼん玉

岩手県

奥州市

高橋 光夫

快方へ向かふ声なり柿たわわ

岩手県

葛巻町

齋藤 誠子

おぶはれて風船自動ドア出づ

宮城県

仙台市

矢崎 卓

秋燕のいくたび渡る津波跡

宮城県

塩竈市

杉本 秀明

秋の空雲はほどけてゆくばかり

宮城県

多賀城市

渋谷 史恵

思ひ出の母校は波に春の暮

宮城県

多賀城市

藤田 良多

満目のみどりの中の朴の花

秋田県

秋田市

山本 しづ

居酒屋で同郷と知る海鞘脛

秋田県

能代市

伊藤 杯紅

喪の家の雪は近所で掻く習い

秋田県

能代市

小田 篤恭葉

虫干や母の形見の江戸古紋

秋田県

にかほ市

横山 誠一

瓦礫より探し出されし鯉のぼり

山形県

山形市

鈴木 あい

綾取りの川を掬うて生身魂

福島県

福島市

佐藤 和子

釣人の影くつきりと鯨日和

茨城県

鹿嶋市

山縣 あゆみ

搾乳の乳迸り風薫る

栃木県

宇都宮市

國井 世津子

ほうたるの闇に余震のまた一つ

栃木県

鹿沼市

戸田 洋子

沙汰の無き子の甚平に風通す

群馬県

前橋市

糸井 登美子

初秋や魁夷の白き馬を見に

群馬県

高崎市

井上 明子

秋夕焼溶け込みそうな一軒家

群馬県

高崎市

大沢 時江

青空をより蒼くして秋桜

群馬県

高崎市

保泉 初音

野辺の花一つ加えし送り盆

群馬県

桐生市

工藤 敏子

おとり鮎商ふ町の理髪店

埼玉県

さいたま市

由川 玉寿郎

人住む窓人住まぬ窓秋深し

埼玉県

川口市

廣田 絹子

蟬の穴あの世とやらが覗けそう

埼玉県

所沢市

小暮 信泉

自転車の荷台に貰う大根かな

埼玉県

所沢市

若山 巖

山毛櫛峠万緑の山動くなし

埼玉県

春日部市

小柳 満

咲き満ちてみてほの暗き牡丹かな

埼玉県

羽生市

柿沼 洋子

山城の銃眼小鳥来てとまる

埼玉県

鶴ヶ島市

横松 しげる

山門に来て蟬しぐれ浴びにけり

埼玉県

滑川市

保泉 一生

大いなる伽藍の礎石鳥渡る

千葉県

佐倉市

西村貴美江

星飛ぶや一夜泊りの岬の宿

千葉県

八千代市

塚原 福夫

枯蠟螂枯れきる前の力かな

千葉県

袖ヶ浦市

重田 忠雄

利根川の水音高し十三夜

東京都

新宿区

松嶋 光秋

赤とんぼ伊勢の御田に影落とす

東京都

台東区

横山 瑞枝

罹災地の命の叫びこぶし咲く

東京都

目黒区

高津喜美江

生身魂露営の歌を口ずさむ

東京都

世田谷区

足立登美子

草は実に石工石打つ力瘤

東京都

杉並区

小島 芦男

時鳥鎌倉山をつらぬけり

東京都

北区

三ツ木 貢

春宵や何をせむとて立ち上る

東京都

北区

山崎嘉代子

万緑の底に熟睡の石佛

東京都

練馬区

納谷 みよ

星の数増えて踊の輪の揃ふ

東京都

府中市

酒井 努

病む人に言葉を探す夜寒かな

東京都

昭島市

田中 順

透明な傘広げよう緑雨です

東京都

日野市

斎藤三津雄

百日紅川の底まで染めにけり

東京都

国分寺市

松原 茂

葛咲くや故郷遠く母の住む

神奈川県

横浜市

天野まさを

一円玉溜まる小瓶や昭和の日

神奈川県

横浜市

一宮 英典

蝉しぐれ声明の如樹林帯

神奈川県

横浜市

岡本 道子

月光に身ぬち透くまで立ちつくす

神奈川県

横浜市

河野 絢子

店畳み去るや巢燕そのままに

神奈川県

横浜市

西尾美智子

余震なお住めぬふる里黄水仙

神奈川県 横浜市

宮脇 美智子

卯の花の瀧のごとくに枝垂れけり

神奈川県 川崎市

浜口 道代

どの花も小さき風つれ秋桜

神奈川県 川崎市

渡辺 ふみえ

夜神楽の大釜に湯を沸かしけり

神奈川県 茅ヶ崎市

岡田 信子

この里に流人伝説柿熟るる

神奈川県 相模原市

清水 美智子

赤まんま首からさげる鍵の束

神奈川県 秦野市

坂谷 芳嘉

どちらかと言へば護憲派温め酒

新潟県 長岡市

渡辺 憲義

佐渡見えぬ日も海を見に秋夕焼

新潟県 上越市

山本 信義

山開き五衛門風呂の板干さる

富山県 高岡市

中尾 三久

被災地の月夜の川を鮭のぼる

石川県 金沢市

西森 茂夫

追い越され追ひつけぬまま蔵山

福井県 敦賀市

上田 美緒

雨二日にわかにかに秋の深まりぬ

福井県 鯖江市

佐々木 邦子

身に入むや崎に表示の放射量

福井県 鯖江市

佐々木 世津子

嫺やかに生きて百歳蓮如の忌

福井県 鯖江市

助田 小芳

スケッチに穂高描けば秋の蝶

福井県 鯖江市

山田 まさ子

父の日の曖昧にして暮れにけり

福井県 南越前町

堀口 まゆみ

風吹けば風つかまんと枯薄

福井県 若狭町

田辺 シズ子

短日や顔から暮るる仁王像

長野県 長野市

鈴木 武司

春耕や時折軋む耕運機

長野県 長野市

宮沢 信博

昏れぎはの華やぎにある春の雲

岐阜県 岐阜市

竹中 定男

一人居の母の齒応えよき菜飯

岐阜県 大垣市

西田 拓郎

御堂よりピアノノ聞ゆる秋の夕

岐阜県 大垣市

山田八重子

ペン胼胝のいつか消えたり敬老日

岐阜県 高山市

水口 達彦

国宝の伽藍掠めし夏つばめ

岐阜県 羽島市

日比すすむ

矮鶏の子の遠出している萩の道

岐阜県 惠那市

鈴木そう子

瘦身の置き所なき大暑かな

岐阜県 土岐市

林 信 夫

飽きてきて辺り見まわす花火かな

岐阜県 各務原市

四十塚龍雄

青空にとどまる鷹の力かな

岐阜県 可児市

高須 良子

花はみな高きに咲けり夏椿

岐阜県 養老町

田中 秀子

山の端の夕日に尖る青芒

岐阜県 垂井町

広岡ともゑ

故郷の母真似てみる土用干し

岐阜県 神戸町

斉藤美津子

梅干すや襷掛けせし妣のこと

静岡県 静岡市

佐藤喜代子

木の実降るとんがり屋根のレストラン

静岡県 浜松市

川瀬 慶子

うららかや魚拓の魚まだ動き

静岡県 富士宮市

藤原 さち

蜻蛉生れ沼は太古のままにあり

静岡県 磐田市

持田 巴子

朝顔に性善説を諾ひぬ

静岡県 藤枝市

松井 芳朗

何処までも歩けそうなり冬日和

愛知県 名古屋市

浅野扶紀子

松籟へ蕎麦刈る音を加えけり

愛知県 名古屋市

小沢 芳治

突き抜けて瓦礫の上の雲の峰

愛知県 名古屋市

加藤 照子

信濃路の車窓百景秋澄みぬ

愛知県 名古屋市

小出美智子

齋王に捧ぐるあやめ剪りにけり

愛知県

名古屋市

小原あつ子

柿熟るる火の神多き陶の里

愛知県

名古屋市

篠田 法子

一枚になりて傾く古曆

愛知県

名古屋市

高橋 洋子

バスを待ったんぼぼの黄に囲まれて

愛知県

名古屋市

野田やす子

奥伊勢のとつぷり暮れし紅葉鍋

愛知県

名古屋市

村田 和司

溪流の大石小石水の秋

愛知県

名古屋市

横山 昭子

色鳥や富士くつきりと裾を引く

愛知県

名古屋市

渡辺 昭男

来賓は若き駐在村祭

愛知県

豊橋市

高橋いすゞ

土つきの甘藷どさりと道の駅

愛知県

岡崎市

足立 則義

風鈴の数だけ音色ありにけり

愛知県

一宮市

村山美智子

亀鳴くや見えて通らぬ針の孔

愛知県

半田市

扇谷よしの

プランタの土買ふ暮し菜種梅雨

愛知県

春日井市

平野 秀雄

茄子漬ける信楽壺に耳二つ

愛知県

碧南市

瀬田みな子

秋冷や少女きりりと弓を引く

愛知県

豊田市

田引 智子

空を見て田を見て二百十日かな

愛知県

西尾市

酒井亜由美

前掛けの小銭を鳴らし西瓜売

愛知県

蒲郡市

小田紀美子

草虱もらふ亜浪の句碑辺り

愛知県

蒲郡市

金澤 房子

荒畑は荒畑のまま草は実

愛知県

稲沢市

水谷文謝子

梁の黒さを見せて避暑の宿

愛知県

新城市

生田比呂志

粗食なることも養生豆ごはん

愛知県

東海市

斉藤 浩美

山里の水音残し藁ぼっち

愛知県 岩倉市

山田 雅弘

ふるさとは紫の風山つつじ

愛知県 愛西市

荻野 周子

古草や崖の一路は風の道

愛知県 武豊町

宮原 みどり

案山子今暮れて全き人となる

三重県 津市

伊 藤 焯

点滴を下げて眺める春霞

三重県 津市

井村 久仁子

ひつじ田のもう白さぎの胸にまで

三重県 津市

宇野 昌子

ひとつひとつもつとも匂ふ瓜買ひぬ

三重県 津市

神田 ひろみ

陽の光包みて梨の袋かけ

三重県 津市

北 主 計

眼裏の母は緋や麦の秋

三重県 津市

倉田 鈴子

寒明けのひかり巻き込む波頭

三重県 津市

駒田 弘子

茅葺きのひとつ家を置き山笑ふ

三重県 津市

真川 達子

母の家見えて三叉路石露の花

三重県 津市

渋谷 顕

戦争の語り部となる端居かな

三重県 津市

清水 あつ子

平凡な暮しもよろし心天

三重県 津市

鈴木 幸子

水神を祀る洗ひ場小鳥来る

三重県 津市

関山 美代子

サーファーの少年一人秋の浜

三重県 津市

竹内 美津子

六月の絵本の中は水浸し

三重県 津市

田中 かつ巳

吊橋に続く道あり野路の秋

三重県 津市

津川 照子

夏草を刈る新しき刃に替えて

三重県 津市

中尾 治光

被災地の空の大きき緑萌ゆ

三重県 津市

西尾 朋子

鯛雲の海原を月滑走す

三重県

津市

納富香

髪洗ふ一ト日雑念解くやうに

三重県

津市

羽田愛子

退職の夫と語るや春炬燵

三重県

津市

福井礼子

震災の瓦礫の下に黄水仙

三重県

津市

本郷温子

亡き人にまたくる便り萩の雨

三重県

津市

前田きさ

姫沙羅の落つなにげなくさりげなく

三重県

津市

真野まさみ

牧草のロールころがす青岬

三重県

津市

村田まみよ

冬菜畑踏切の鐘稀に鳴り

三重県

津市

山本浩子

崖下は風の溜り場落葉径

三重県

津市

渡辺あさ子

東の間の朱に染まる雲寒鴉

三重県

四日市市

荒木昌子

川底の闇震はせて牛蛙

三重県

四日市市

篠田万千子

火の国の火を貰ひたる曼珠沙華

三重県

四日市市

下平しづ子

海原に秋の日の入り親不知

三重県

四日市市

矢田敦子

齋王の宮を訪ふ白日傘

三重県

伊勢市

鈴木はとこ

自由の身なれど我にもある秋思

三重県

伊勢市

竹内康子

卒園のひとりひとりを眩しめり

三重県

伊勢市

平賀節代

技打ちて見上げる空の青さかな

三重県

松阪市

荒川加代子

日を返し日に染まりゆく草紅葉

三重県

松阪市

大塚房子

明け易し駅まで急ぐ靴の音

三重県

松阪市

長美和子

その先にひかる海あり花菜みち

三重県

桑名市

伊藤修敬



花菜風卒寿の母のうなじ吹く

三重県 桑名市

尾崎 泰宏

山若葉子の名書きある巢箱かな

三重県 桑名市

小寺美津子

口遊ぶ年の始めの童歌

三重県 桑名市

佐野 信子

汽笛の音筈が返す青山河

三重県 桑名市

関 根 清

轉や父の好みし鳥打帽

三重県 桑名市

早川 恵子

いか舟の休む日中の港町

三重県 鈴鹿市

大河原妙子

晩学の硯に落す寒の水

三重県 鈴鹿市

佐野 和男

冬耕の一畝残し去ににけり

三重県 鈴鹿市

末松 あい

コスモスの風に暫らく憩いたり

三重県 鈴鹿市

仲見 ひさ子

剣山に定まりにくき手鞠花

三重県 鈴鹿市

橋本眞佐子

御供はハーモニカソロ春彼岸

三重県 鈴鹿市

吉田 博實

鬼ヶ城ゆるがす卯波たちにけり

三重県 尾鷲市

湯浅 桃代

喪の手紙ポストに落す暮の秋

三重県 亀山市

井崎久美子

その紅は怖いほどです曼珠沙華

三重県 亀山市

今泉 清美

新牛蒡はみ出す無人売場かな

三重県 亀山市

小川 浩子

滴りに湯呑み置かれし古道かな

三重県 亀山市

片岡 智子

風に色広げて桜ふぶきけり

三重県 亀山市

那須 千代

鈴虫やよく笑ふ母真ん中に

三重県 亀山市

松本美江子

出水にも耐へて古道の石畳

三重県 熊野市

楠木 君子

日当りに座を移しつつ賀状書く

三重県 熊野市

更田鉄五呂

地震の地の理不尽洗ふ大白雨

三重県

熊野市

西 豊 子

幸便で届く香魚や朝ぼらけ

三重県

熊野市

南 信

浜風の通ふ路地裏盆太鼓

三重県

志摩市

小堀たつ代

ジープンの梅雨湿りして旅にあり

三重県

志摩市

棚橋 綾子

空と海溶けあふあたり鰹釣る

三重県

志摩市

中井 志汐

家々に風が届ける踊唄

三重県

志摩市

橋爪 里子

嫁ぐ娘と籠を一つに蓬摘む

三重県

志摩市

浜村 きよ

ペンキ屋の釣瓶落しをかこちけり

三重県

伊賀市

池住 律子

雲海に映す我が影御来迎

三重県

伊賀市

大恵 和子

はるかにてまたかなかなと湧きあがる

三重県

伊賀市

岸 幸 雄

衣被母の作りし麴味噌

三重県

伊賀市

佐々木 経子

やはらかき雨音耳に春障子

三重県

伊賀市

澤野多喜代

飛行船浮く麦秋の伊賀盆地

三重県

伊賀市

島 井 節

此の村の此の上だけの夕立雲

三重県

伊賀市

辻元としみ

秋日落つ真珠笈の色を變へ

三重県

伊賀市

豊岡はつ子

酒倉の定紋高し鳥渡る

三重県

伊賀市

西口かず子

長き夜や曾良随記三度読む

三重県

伊賀市

西島 壮六

榎櫃の実一つ梢に砦坂

三重県

伊賀市

原 禮 子

葡萄棚山の形に傾けり

三重県

伊賀市

平島由季子

玉葱を軒に吊して老いにけり

三重県

伊賀市

藤森 貞子

子等風の虜となりて大花野

三重県

伊賀市

前澤 君子

秋日傘ひとりの影を長うする

三重県

伊賀市

増田 ふさ子

よき音の足踏みミシン春霽

三重県

伊賀市

宮谷 ふさ子

琴糸の村や蚕飼の減るばかり

三重県

伊賀市

森井 章恵

水泳を見て居るだけの水着かな

三重県

多気町

達原 耕雲

鳴き連れて鴨の円陣崩れけり

三重県

明和町

木戸 口眞澄

夏草やすこし見ぬ間の子の背丈

三重県

玉城町

奥山 いつ子

被災地を考えている盆用意

三重県

玉城町

野呂 美代子

うぐいすの声ふりそそぐ忘れ鎌

三重県

大紀町

長谷川 雪緒

沖鳴りの三日つづきぬ稲の花

三重県

南伊勢町

小山 勝嗣

稲架かけて奥志摩の海隠しけり

三重県

南伊勢町

小山 幸代

新米の輝く白さ握りけり

三重県

紀北町

植村 伸子

絵日傘を廻し子供の頃のこと

三重県

紀宝町

寺本 紀美代

終点は麦の秋なる無人駅

滋賀県

大津市

宮崎 正子

白壁に影の遊びし秋桜

滋賀県

長浜市

鵜飼 良子

奥飛騨の瀬音を運ぶ秋の風

滋賀県

長浜市

勝木 岩松

燕の巣残したままに閉校す

滋賀県

近江八幡市

福井 信雄

学童の帰りは一人赤とんぼ

滋賀県

近江八幡市

若林 白扇

法被の子背に眠らせ祭終ふ

滋賀県

草津市

畑井 光雄

語り継ぐことのまだあり終戦日

滋賀県

草津市

室田 ヒデ子

朝寒も夜寒も比叡の風の音

滋賀県 守山市

大崎 守

初秋や出席と書く古稀の会

滋賀県 甲賀市

柄川由紀子

信樂の壺に野の花月記る

滋賀県 甲賀市

松田 和枝

ふと寂し夕焼空の美しきとき

滋賀県 野洲市

田中 善輝

地下鉄に立ちて文読む親鸞忌

京都府 京都市

吉川 長命

分教場生徒八人花は葉に

京都府 南山城村

栗原 弘子

涼しさや少年会積してゆきぬ

大阪府 大阪市

網干 文江

紫木蓮雨の忌日となりにけり

大阪府 大阪市

濱岡 愛子

遠富士の端然として冬日受く

大阪府 堺市

中村 吉和

一望に大和三山さやけしや

大阪府 堺市

濱口 庄三

伝令のごとくよぎりし鬼やんま

大阪府 堺市

藤井 順子

雨止まぬひと日は長し秋遍路

大阪府 吹田市

柚須 浩二

色鳥の光一閃風に消ゆ

大阪府 泉大津市

池田 幸恵

雨に咲き静けさに咲く濃紫陽花

大阪府 守口市

角熊しず子

秋深しすらりと抜ける魚の骨

大阪府 八尾市

穂山 常男

雁風呂や夜のかなたも夜の深く

大阪府 八尾市

高安 春蘭

晩学の灯りの外にちろかな

大阪府 八尾市

仁科 早苗

帰省子の解き放たれし寝顔かな

大阪府 寝屋川市

植田 智子

柔らかく闇をほぐせる蛍かな

大阪府 寝屋川市

山脇安佐子

照り翳り著き一日や葛の花

大阪府 和泉市

清岡千恵子

天平の土堀の続きみむらさき

大阪府 和泉市

白井 恭郎

ほうたるの落ちたる草の灯りけり

大阪府 和泉市

山口千枝子

街角に人を待つ間の秋思かな

大阪府 門真市

皆木多恵子

天に地に一礼をして田を植うる

大阪府 東大阪市

渡辺美智子

芭蕉堂一句献じて明易し

兵庫県 神戸市

大谷 櫻

聖五月ミサで始まる幼稚園

兵庫県 神戸市

大谷 正

木犀の風の吹き来る交差点

兵庫県 神戸市

片山 螢石

朴の花高きより香の降り来たる

兵庫県 神戸市

栗山 恵子

よく鳴いて庭に小春の雀かな

兵庫県 神戸市

小林 辰夫

夏至けふのダム湖いよいよ青深し

兵庫県 神戸市

春名あけみ

どこからか妣の声する秋桜

兵庫県 姫路市

難波 佳代

赤ん坊に乳房をぽいと鮑海女

兵庫県 西宮市

阪 ひとし

ぶだう挽ぐ娘すらりと脛長し

兵庫県 西宮市

松林 和生

天の川砂漠越えくる電話かな

兵庫県 豊岡市

小島 雅子

麒麟の子座れば親したんぽぽ黄

兵庫県 宝塚市

井上 珠青

一山の鼓動のごとく苔清水

兵庫県 宝塚市

西村 宏

ぬばたまの高野百坊青葉木菟

兵庫県 南あわじ市

田中 昭子

坂道の多き村なり風光る

兵庫県 佐用町

藤生 清美

つり革に血管青く夏来る

奈良県 奈良市

前田 ゆきお

霧襖大和三山閉ざしけり

奈良県 奈良市

和田 富子

津波より残れる松に燕来る

奈良県

橿原市

谷 奥

隆

天窓の大きな家の十三夜

和歌山県

新宮市

佐古口雅志

時ならぬ鶏の声秋出水

岡山県

岡山市

栗原 員江

地酒佳しことに鱸の奉書焼

広島県

広島市

松原 英明

比叡山這ひ登り行く青嵐

広島県

福山市

宇田日出夫

草がくれ行く水ありて佛生会

広島県

三次市

錦 武志

鶏頭の鶏冠らしく咲くことよ

山口県

防府市

中田 英子

杉の実の鉄砲打てば母の声

徳島県

松茂町

大野 穰一

どちらから見ても歪や榎櫃の実

香川県

三豊市

福岡 園子

腹打って鯉のもみあふ夏来たる

愛媛県

松山市

濱田 昭三

あたたかき雨が降りだす陶器市

愛媛県

新居浜市

菅 伸明

椋鳥群れて天界の辻曲りけり

高知県

高知市

高野 基都

職退くと妻に一言春炬燵

高知県

須崎市

徳永 逸夫

石炭を運びし鉄路葛の花

福岡県

北九州市

小林 浩代

金印の島に香りぬ葛の花

福岡県

嘉麻市

久 保 寥

瀬を渡る蛇美しき波立てて

熊本県

八代市

貝田ひでお

底冷えのレール軋ませ貨車入る

宮崎県

宮崎市

掛園 明江

秋天に馬放ちたる阿蘇高原

鹿児島県

南さつま市

中嶋千恵子

アマゾンの旅に春愁流しけり

ブラジル

サンパウロ州小橋矢介夫

春眠の掌より落ちたるハイネの詩

ブラジル

サンパウロ州清水 照子

一日の疲れを癒す髪洗ふ

ブラジル

パラ州

大楯エツヨ

信号も国境もなし夏つばめ

ブラジル

パラ州

今野千枝子

郷愁となる日ならぬ日夕焼けて

ブラジル

パラ州

渡辺悦子

耕やすや父の気配のする大地

ブラジル

ペルナンブコ州

佐藤けい子